



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

December 2001 No.6
 Chartered July 20, 1982

標語	YS SLOGANS (2001~2002)
クラブ会長	『ひろがれワイズ めくもりのある共生社会をめざして』
国際会長	"Building new Y'sdom with the teachings of Jesus Christ"
	『イエスキリストの教えに基き 新しいワイズダムを建設を』
アジア会長	"Be a Grain into the Ground"
	『地中の種となれ』
西日本区理事	"No Dream No Future"
	『クラブビジョンを語ろう』
中西部長	『兄弟愛をつづけよう』

クラブ役員	Officers
会長	: 中村 茂高
副会長	: 畠中 彬
"	: 松浦 孝次
書記	: 山田 孝彦
"	: 畠中 彬
会計	: 三浦 直之
メット会長	: 畠中ひろみ
Y連絡職員	: 浜野 昌保

月間強調テーマ : 『 EMC-M 』

<<<< 12月の聖句 >>>>

【 Biblical Message of the Month 】

キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕(しもべ)の身分になり、人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのです。

(フィリピの信徒への手紙 2章6~11節)

<<<< Attention Please >>>>

1. YMCA 合同クリスマス会では、礼拝の受付・清掃、祝会での飲み物の提供を担当、コーラスも歌います。
2. 12月第2例会は、12月19日(水) ホテルサンガーデン 堂島4Fにおいて、17:30からの役員会のあと、18.30から20.30まで全員が出席しての年納めの「納会」をもちます。
2001年を振り返り、新たな年への出発のバネとしたいものです。そして石津雅人、鎌田史郎両氏の入会式という、うれしいセレモニーがあります。

<<<< 12月例会 >>>>

【 December Regular Meeting 】

○12月 第1例会

日時: 2001年12月1日(土) 17:00~17:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀館5F502号室

司会 谷川 俊一 君

1. 開会点鐘 中村 茂高 会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 池永 栖子 君
4. お誕生日祝い 一同
5. ニコニコ献金 ドライバー
6. その他連絡・報告 各担当
7. 閉会点鐘 中村 茂高 会長

○YMCA 合同クリスマス会

日時: 第1例会と同日 (12月1日)

プログラム:

- ・18:00~18:45 大阪教会で「礼拝」(地上に平和)
- ・19:00~20:30 YMCA土佐堀館2Fホールで「祝会」(祈り・癒し・平和)

○12月 第2例会

日時: 2001年12月19日(水)
 場所: ホテルサンガーデン 堂島4F

役員会: 17:30~18:30

納会: 18:30~20:30 会費: 4,000円

*12月例会当番 第3班 (藤原、黒田、谷川寛、田中、池永栖、谷川俊)

*お誕生日 Happy Birthday! 黒田君2日、谷川俊君5日、中村隆君26日、浜野メネット17日

【 クラブ統計 Statistics 】

(注 一部の数値が11月23日現在未確定です)

2001年11月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント		ニコニコ献金
在籍会員 26名	メン	16名	名	11月: 切手	gr	11月: 16,300円
例会出席 名	メネット	6名	名	現金	円	
マークアップ 名	ビジター	1名	名	累計: 切手	4,245 gr	累計: 99,130円
出席率 %	ゲスト	2名	名	現金	19,500 円	(除Xmas 献金、オークション、記念献金)
(Attendance Ratio)	合計	25名	名			

この聖書の箇所は、使徒パウロがフィリピの教会の信徒に宛ててしたためた手紙です。パウロはここで神とイエス・キリストの関係を説明しようと努力している姿勢が読みとれます。

それはとりもなおさずクリスマスの意味を最も端的に表現している言葉です。

人は残念ながら、見えざる神の意志を直接感じたり、くみとったりすることはできません。しかし神の意志が、人間社会に生を享けた神の独り子とされるイエス・キリストの生き方の中に具体的に示されているとするならば、それによって私たちは神の意志を知ることができるわけです。

イエスの生涯は30数年の短いものでありましたが、徹底的に「愛」を実践し、貫いたものでした。十字架という刑をも忌避せず人々に対する愛（それは神の愛にほかなりませんが）を示したものです。今、私たちがもし十字架に象徴されたキリストの愛の生涯を心に受け入れることができるならば、その人は最も意義あるクリスマスを迎えることになるでしょう。

(聖句選、コメント：黒田敏之)

With an emphasis of "Brotherhood Fund", a total of 16 members, 6 Y's menettes and 3 guests gathered for the November meeting.

We were pleased to see Y's man Osamu Ishikawa, District Service Director in charge of the BF, and two prospective candidates, Mr. Masato Ishizu and Mr. Shiro Kamata were among our guests.

Y's man Keizo Kuriyama, responsible for the BF briefed the meaning and purpose of the BF programs while we were engaging in sorting out good quality used stamps among stamps collected.

Mr. Masayasu Hamano, our related Y staff reported us of the successful outcome of the Charity Run and the carnival event held recently at the Osaka YMCA.

President Shigetaka Nakamura and Y's man Sam Fujiwara briefed details of the club's new Community Service projects such as to sponsor the "Amerasian Children Summit" meeting to be launched in August, 2002. All members approved the programs and sharing each one's roles was discussed.

Y's man Takaaki Yuasa, former DG of the Biwako District, now our member spoke about useful experience he had while in the Biwako District.

《《《《 11月第1例会 》》》》

【 Report of the November Club Meeting】

(11月21日(水) 18:30~20:45)

プリテン担当：松浦 孝次

11月はBFの月。栗山BF委員長から「BFとは、使用済み切手を換金して、公式行事に参加する旅費の資金源とすること」等々の説明があったあと、全員がハサミを持って、大量の切手をカッティングしました。中西部の石川修ファンド事業主査がゲストとして来訪されました。

浜野 昌保メンからは、YMCA 情報として、YMCA 学院高等学校の開設、初めての土佐堀 YMCA カーニバルと恒例のチャリティーランが盛況のうちに開催されたことが報告されました。

新しいCS活動目標がこのほど決定したので、藤原地域奉仕委員長と中村会長から、その趣旨・背景・内容について詳しい説明がありました(①沖縄アメラジアンスクールへの支援 ②大阪 YMCA ミャンマー・チャイルドケアプロジェクトへの支援)。それについて、メンバー全員が夫々何らかの役割を担って参画すべきこと、プログラムをよく検討すること、YMCA との連携を十分にとる、など前向きな意見が多く出ました。

今月の「ちょっとスピーチ」は、湯浅 充章メンが担当。自らのワイズメン人生について披露がありました。1988年から5年間当クラブに在籍の後、滋賀・草津ワイズメンズクラブに転籍し、びわこ部部長にも就任。滋賀県のワイズメンは、地域問題を行政とタイアップして取り組む姿勢が特徴的だそうです。そうした幅広い活動を通じて、貴重な人的交流が得られ、大変勉強になったとのスピーチでした。

《《《《 YMCA ニュース 》》》》

連絡職員・浜野 昌保

★大阪YMCA早天祈祷会

日時：12月21日(金) 7:30~8:30

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

証し：岡村 恒氏(日本基督教団大阪教会牧師)

★北YMCAクリスマスチャリティーコンサート

～クリスマス聖歌とヴァイオリンの調べ

日時：12月14日(金) 19:00~21:00

場所：豊中市立アクア文化ホール(阪急曾根駅下車)

問合せ：大阪北YMCA Tel06(6867)4744

★大阪YMCA公開講座「福祉文化を築く」

～市民社会とボランティアについて考える

日時：1月12日(土) 13:30~16:30

場所：大阪YMCA会館 2階ホール

講師：阿部 志郎氏(横須賀基督教社会館 館長)

土肥 隆一氏(衆議院議員)

河 幹夫氏(厚生労働省参事官)

問合せ：大阪YMCA Tel06(6441)0894

* 第1回土佐堀Yカーニバルは、11月3日(祝)に雨にもかかわらず520名を越える来館者でにぎわい、模擬店や献品販売などで18万円余りの収益金を得ることができました。クリスマス献金として地域奉仕活動に有効に使わせていただきます。皆さまのご奉仕に感謝いたします。

* 翌週に行なわれたチャリティーランは、快晴の絶好のコンディションで、44チーム出場、ランナー・ボランティア合わせて480名もの参加を得ました。収益金288万円余りは、心身に障害のある子どもたちへの支援プログラムのために使わせていただきます。重ねて皆さまのご奉仕に感謝いたします。



ニコニコ・メッセージ

【 Messages from the Club Members 】

11月例会に出席のゲストは、石津雅人、鎌田史郎の両氏。ビジターは、大阪千里クラブの石川 修氏です。

《ゲストからのメッセージ》

○優秀クラブの「センテニアル」に出席できて感謝。ゴマスリではありません。
(大阪千里クラブ・石川 修)

《“ごぶさた”メッセージ》

○例会は仕事の都合で欠席させていただきます。毎度の欠席で心苦しく存じますが、ブリテンを読ませていただいたり、メールを拝見して皆様のご活躍や近況を知ることができて、仕事の励みにしています。

(池永 栢子)

○欠席させていただきますのでよろしくお願いいたします。

(池永 洋宣)

○当日18時過ぎまで西神中央で仕事にあたります。例会への出席は、相当遅くなるか、欠席させていただくようになるかもしれません。

(谷川 俊一)

○11月21日の例会は、会議のため出席できなくなりました。この時期、大学は採用人事の季節で、臨時の会議が開かれることが多いのです。ご容赦ください。

(貴多野乃武次)

○チャリティーランでは何とか1,000M走れました。来年は2,000Mにチャレンジしたいですが、足がついてきますかどうか・・・ 例会は、島根県出張のためおられません、欠席します。

(新保 正秋)

《会員からのメッセージ》

○センテニアル20周年記念事業として「アメラジアン子どもサミット」が実現しようとしています。今後の取り組みも含めて、意義のあるCS活動にしたいものです。

(栗山 佳三)

○鈴木先輩のお元気なお姿に接して。

(黒田 巖之)

○鈴木謙介さんがお元気になられてととてもうれしいです。これからはずーと毎月お会いできることを楽しみにしています。

(坂本 千春)

○最近まで病臥していて例会出席ができずでしたが、今はよくなって出席できて感謝。

(鈴木 謙介)

○久しぶりの例会で皆様にお会いできて楽しい集いを持ってました。

(隅田 恵子)

○楽しい例会有難うございました。

(田中 穰二)

○健康を許され例会に参加することが出来、感謝です。

(谷川 寛)

○CS活動の具体的な話がよいよセンテニアルで始動しました。たくさんの方がかわり、負担がなきよう、楽しく意義あるものを作りましょう。

(中村 茂高)

○今日もまたセンテニアルの例会を通して世界が見えます。みなが幸せで平和でありますように。

(中村 幸枝)

○秋晴れの下のチャリティーラン、皆さまごくろうさまでした。2チームよくがんばりました。山村ファミリー、松浦ファミリー中心に若いも若きも協力し完走しました。順位は気にしないでいきましょう。

(島中 彬)

○11月はチャリティーバザー、チャリティーラン、「いのちの電話」発送と、お手伝いの機会が沢山ありました。“元氣”っていいなあーと思うことしきりでした。

(島中ひろみ)

○BF活動の大切さを再認識させていただいた例会でした。今後とも一枚の切手を無駄にすることなく、活用していければと思います。

(浜野 昌保)

○元氣で久しぶりの切手整理を楽しみました。新しいCSプロジェクトはまことに有意義で是非実現したい。テープの音の調整不良は申し訳ありません。

(福永 嘉彦)

○久しぶりにお目にかかる人も多く、賑やかな例会で心嬉しく思います。CS目標も決まり、皆さんの力でセンテニアルの力を大いに発揮したいものです。

(藤原 正巳)

○家の建替えを計画し、10月下旬近所に引越し、今仮住まいをしています。30年間蓄積した家財、本、資料、子ども達の昔の教材などの整理とパッキングに、この数ヶ月忙殺されました。ワイズの資料だけはすぐ取り出せるように手元に置く毎日でした。

(松浦 孝次)

○チャリティーランで頑張ったことを祝して。(結果はともあれ)

(三浦 直之)

○チャリティーランでは、センテニアルファミリーの元氣な皆さんと一諸に走れ、折からの秋晴れにも恵まれ、幸せな一日をすごせて感謝です。この勢いで23日には川西市の市民マラソンでハーフに挑戦します。完走できるようお祈りください。

(山田 孝彦)

○前日(20日)広島母校の創立100周年記念に出席し、50年前の私の修学旅行感想文を発見しました。びっくりしました。「聖堂の天井高く菊薫り」

(山村 幸明)

○中村さんのアメラジアンプロジェクトの話聞き、センテニアルクラブの積極的な支援を応援します。

(山村 利子)

◆♡◆ ◆♡◆ ◆♡◆ ◆♡◆ ◆♡◆ ◆♡◆ ◆♡◆ ◆♡◆
《編集後記》

当月号ブリテン発行は、12月第1例会(12月1日)までに間に合わせるため、11月23日で原稿を締め切りました。このため11月のBFニュース、11月第2例会の出席状況や報告など一部の情報を掲載できないまま、当月号を発行せざるを得なかったことをご了承ください。1月号で掲載します。

11月第1例会の英文レポートも、藤原さんにあわただしく一日で英訳をお願いした次第です。

いよいよ師走、越し方行く末を吟味する時期ですね。

(松浦 孝次)